

視 点

介護に競争を

介護業界には、競争が足りない。これまで介護保険制度はサービス拡大と安定供給を優先し、事業者間の質の差を経営に反映させない仕組みを続けてきた。しかし、介護保険サービスもほぼ飽和状態となり、これからは、努力や改善をしなくても生き残れる環境では、産業としての進化は望めない。

競争原理とは、単に価格を切り下げることではなく、利用者の生活の質を高めた事業者が、明確に評価され、選ばれることである。しかし現行制度では、サービスの成果や付加価値が十分

に可視化されず、介護報酬も横並びに設計されている。

この状況を打破するためには、ICTやAIの活用を介護報酬の「加算項目」ではなく、制度の中心に据えるべきだろう。記録、情報共有、見守り、業務管理をいまだに人手に依存させる制度設計では、人材不足を慢性化させるだけである。テクノロジーによる生産性向上によって、人員配置が少なくとも、質の高いサービスが提供できる方向に舵を切るべきだろう。そうしなければ、魅力ある職場にならないし、高い賃金も実

現できない。

あわせて、事業者の大規模化を制度的に後押しする視点も不可欠である。零細事業者の乱立を温存することは、ICT投資や人材育成を阻害し、結果としてサービスの質を引き下げている。

次期介護報酬改定では、質の向上、生産性改善、大規模化を実現した事業者を明確に評価する仕組みを導入することが求められる。「現状維持」を選び続けるのか、「進化」を制度として促すのか。介護保険制度のこれからは、その決断にかかっている。

社会保険旬報 目次

No.2997 2026年4月21日

座標

DPC対象病院は76病院減少
中医協が経営状況把握で臨時調査実施 …… 4
大腿骨頸部骨折等が第三次救急に集中
認知症患者を支える医療の体制整備へ …… 5

動向

外来医療機関の機能分化の推進や
生活習慣病管理のきめ細かな対応
—令和8年度診療報酬改定 …… 6

レコーダ

日本医師会が代議員会開く
令和8年度改定は今後の道しるべ
産科医療機関の存続を明確化 …… 12

論評

医療情報基盤としての電子カルテの今後(1)
診療報酬改定と補助金が
導く電子カルテ全国連携
高橋 泰 …… 16

連載

水俣病問題
認定と補償の問題にかかわって (3)
和田 勝 …… 22

随想—視診・聴診

また居なくなる
高山 哲夫 …… 26

潮流

後期高齢者の金融所得勘案のDBを受託承認 …… 27
支払基金の令和8年度事業計画 …… 28
医療保険制度改革法案が審議入り …… 30
「新たな地域医療構想」で報告書 …… 32
看護職員の養成・確保の議論を開始 …… 34
後発医薬品の数量シェア90%に …… 36
社会保障国民会議有識者会議が議論 …… 37

NEWS

ベースアップ評価料
無床診の届出は6割 …… 38

療養の給付の取扱いについて …… 39

経済スコープ …… 41

編集室・ワードカプセル …… 42